

まき 広報

1976

1 / 25

第236号

発行/新潟県巻町役場

編集/企画課

毎月10日・25日発行



はたち門出

成人式が一月十五日、巻小学校で行われ、町では四百十四人の若者が晴れやかに「はたち」の門出をしました。

当日は小雪の散らつく天候の中、大勢のみなさんが参加華やかなふんい気の中で、力強く成人としての第一歩を踏み出しました。

なお、一月の成人式は今回が最後で、次は今年八月十五日のお盆の成人式となり、昭和三十一年四月二日生まれから三十二年四月一日生まれの人が該当します。

五十嵐 泰人



☆生年月日 四十九年七月十六日☆住所 十三区☆両親の名前 真哉(父) 正子(母)☆続き柄 二男☆名づけ親 父☆名前の由来 「泰山北斗」から一字とってつけた☆愛称 タイちゃん☆好物 くだもの、シューマイ、シチュー

赤ちゃん 登場

高橋 裕美子



☆生年月日 四十九年三月二十日☆住所 堀山団地☆両親の名前 健治(父) 節子(母)☆続き柄 長女☆名づけ親 父☆名前の由来 心ゆたかに伸び伸びと育ってほしい☆愛称 ユミちゃん☆好物 めん類、くだもの

収量伸び、収益は横ばい

葉たばこの収納実績まとまる

砂丘地の基幹作物の一つである葉たばこの収納が終わり、赤塚たばこ耕作組合(新潟市赤塚、石黒重一組合長)で巻地区の五十年産葉たばこの収納実績がまとまりました。

しかし、今年は葉たばこ栽培の大敵である「モザイク病」が多く発生し、品質では前年より落ちています。同組合では「反当り代金は増えましたが、肥料、薬剤、手間賃などの生産費が六〇パーセント以上もかかっており、実情はそんなに楽ではありません」といっています。

なお、町での葉たばこ栽培は松山、松野尾南部、同北部、新月、大原、布目、越前浜、四ツ郷屋の八総代区、栽培農家九十九人で、

それによると作柄は平年作で、十アール当り平均収量は四十九年並みの二百九十七キログラム、十アール当り平均代金は十三・二パーセントの買入れ価格引き上げなどもあって、四十九年に比べ三万円増え三十五万円となりました。



忙しい収納作業 (たばこ耕作組合で写す)

百三ヘクタール栽培しており五年の総収量は三千万五千キログラム収納総代金は三億六千万円一人当りの平均収納代金は三百六十五万円となりました。

あなたの土地の確認を

竹野町、仁箇、稲島、伏部の地籍図等を閲覧

町では、国土調査法による地籍調査をみなさんのご協力を得ながら進めています。今までに調査を終わって作成した、竹野町、仁箇、稲島、伏部各地内の地籍図(図面)と地籍簿(台帳)を、二月二十三日から三月十三日までの二十日間、役場で閲覧します。

これは、図面と台帳を法務局へ提出する前に、みなさんから自分の土地の図面と台帳が間違っていないかどうかを確認していただくために行うものです。

該当者には個人通知しますので期間中にぜひおいでください。

年ごとに品質が向上

みがき丸太品評会

町では一月十七日、福井みがき丸太品評会を開きました。

丸太生産組合展示場で、みがき丸太品評会を開きました。当日は人工絞丸太、みがき丸太、天然木の各部門合わせて百五十点が出品され、形状、節、色、光沢、丸味末落、ひび割れ、総合などの基準で、減点法によって厳しい審査を受けました。

成績は次のとおり。敬称略

▽人工絞丸太の部 一位佐藤清(福井)二位伊藤誠(同)三位本間常男(同)

▽みがき丸太の部 一位斎藤文夫(福井)二位本間憲吉(同)三位伊藤五一郎(同)

▽天然木の部 一位斎藤八郎(福井)二位小熊長治(同)三位斎藤範男(同)

中堅青年の育成めざして

2月9日から農業青年講座開催

農業振興協議会(町・巻町農協 福木岡農協・農業改良普及所・農業共済組合・農業委員会の六団体で構成)では、二月九日と十日の二日間、農業教育センター研修会館で「農業青年講座」を開きます。当日は各農協から推せんを受けた中堅農業青年五十人が参加。二日間にわたって、農政問題、農業の制度資金、経営と簿記などの話を

町では、夜間を中心にして除雪作業に取り組んでいます。除雪後、天候がよくならぬと早く雪をかすため、道路上に雪を投げ出す人が見受けられます。

そうしますと道路交通上からも大きな支障となり、またその雪がとけないうちに降雪がありますと除雪作業にも支障となります。

スムーズな道路交通確保と除雪作業のため、みなさんのご協力を願います。

雪の投げ出しはやめましょう

交通・除雪に支障

町では、夜間を中心にして除雪作業に取り組んでいます。除雪後、天候がよくならぬと早く雪をかすため、道路上に雪を投げ出す人が見受けられます。

そうしますと道路交通上からも大きな支障となり、またその雪がとけないうちに降雪がありますと除雪作業にも支障となります。

スムーズな道路交通確保と除雪作業のため、みなさんのご協力を願います。

町民・保険税各4期は31日まで

町民税、保険税各四期分の納期限は一月三十一日です。

月末は窓口が混雑し、待ち時間が長くなると思いますのでなるべく早く納めてください。

なお、町では振り替え納税をおすすめしていますので、まだ利用されていない人はあなたが預金をしている金融機関、または税務課へご相談ください。

おさそい合わせて町民スキー教室へ

▽主催 公民館▽期日 二月八日、午前六時四十五分第四銀行巻支店前集合▽会場 広神村権現堂スキー場▽募集人員 百人▽交通 バス二台▽会費 一般千二百円、小中学生千円▽持参品 中食、保険証▽指導員 巻スキークラブ員▽申込み 一月三十一日まで公民館へ▽その他 ①小学生は父兄同伴②貸スキー希望者は申し出を③参加費は申込みのときに。

2月29日に町民卓球大会

▽期日 二月二十九日▽会場 巻小学校▽種目 ①一般団体戦 ②一般個人戦(男子三十五歳以下、同三十六歳以上、女子) ③中学生男・女個人戦▽競技方法 団体のチームは男子三人女子一人以上としトーナメント▽申込み 二月二十五日までに公民館へ▽組み合わせ 主催者に一任のこと。くわしくは公民館へ

農家のみなさんへ 軽油免税証を交付

春の農耕用機械に使用する軽油(ガソリン、灯油、重油は除く)の免税証交付を次により行いますので、忘れずに申請をしてください。

▽日時 二月十九日・二十日 午前十時から正午まで 午後一時から三時まで

▽場所 役場

▽持参するもの ①新規申請の人 申請書、印鑑、機械の名称、エンジン番号、馬力等がわかる書類(契約書の写し等)、農業委員会で発行する耕作証明書②すでに使用者証の交付を受けている人 申請書、使用者証(各人ごとの機械をもって共同申請する場合は各人の使用者証)、印鑑(共同申請の場合は各人の印鑑)③使用者証があり登録事項の変更届けを必要とする人 ①と同じ書類

▽共同申請 各人ごとの機械を持っていても代表者を定めれば共同申請ができます。その代表者に共同申請してもらえば一人です

町ぐるみで飲酒運転追放を

百日運動の期間中

「酒を飲んだら運転しない」「運転者には酒をすすめない」「運転するときには酒を飲まない」をスローガンに、二月十八日まで飲酒運転追放百日運動が行われています。

飲酒運転は、交通四悪(飲酒運転、スピード違反、無免許運転、無理な追い越し運転)のうちで、もっとも悪質なもので大きな事故につながる可能性の高いものです。そして、飲酒運転による交通事故が多くなっています。

この期間中はもとより、今年も

町民総ぐるみで飲酒運転追放にご協力ください。

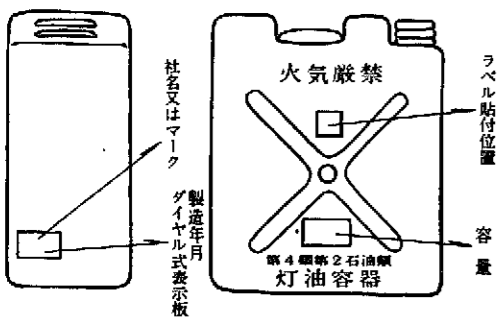
安全な灯油容器のご使用を

推奨マークが目安

みなさんの家庭では、暖房用に灯油を使用されている家庭も多いことと思います。

その場合、二十リットル以下の灯油用ポリエチレン缶を使用するときは、消防法令に合った丈夫な構造で適正容量のものを購入されて、火災防止につとめられるようお願いいたします。

なお、消防署では略図のように推奨マーク入りの容器をおすすめしています。



農業の道しるべ



べきか言葉がありません。現地で取り組んでいられる方々に、ただただ期待するばかりです」と、学問の分野で説明することの出来ない、現在の農業施策へのなげきを訴えておられました。

また、現地の試験研究機関のある先生からは、「北海道の農村も農政の腰くだけでいつも被害を受

現地こそ本命

農業振興協議会

西村欣策

北海道の農業

「一年に一べんの便りでつながれた友情ではあるが、年賀状の中には心こもるものがたくさんあり、励ましや示唆(さ)に富んだものも多い。」

ことしの賀状の中から、特に農業を研究、指導する人たちの言葉を選んでみると、共感とともに心打たれるものが多かった。

ある大学の先生は、「日本農業はむつかしい曲り角にさしかかっています、私などはどう提言す

いままでの研究や学問は、現地の農村人の幸せや日本農業発展のために、技術の問題も経営の理論も、そして農業施策の理論も打ち出され、国の政治をはじめ農村人の行動にまで絶えず新しい方向を提言して来たものであった。

外の分野が先行し、理論も理念も打ちくだかれている、ということなげいている人が多い。というところで、日本農業にとつて最も痛ましい時代だといえるのである。

また、農業なら大規模で、そして北海道のような農業を、アメリカの大農方式を取り入れた農業を……

と云ってき

た。その北海道の農業

指導者が戸惑いし、なげきの声を上げるといふ事はたしかに日本農村の悲劇の時代なのである

ところが、これを正し、農業が本来の使命を取り戻すのは、現地の農村人が立ち上つて「あるべき姿を要求」し、新しい時代を作つてほしいと呼んでおられるのであるが……

私たちが真剣に考えなければならぬ、と憶うのである。

灯油の量目に監視の目 県検定所が検査

県計量検定所では1月13日、町内から7世帯を選んで灯油の計量検査を行いました。

これは、各家庭で18リットル缶で買った場合に、正しい量が入っているかないかを検査したものです。

18リットル缶の場合には+900ミリリットル～-540ミリリットルが誤差の範囲として計量法で許されており、同検定所では「問題はありません」と話していました



慎重な検査 (3区で写す)

みどり保育園の園児募集

みどり保育園(七区)では、次

により五十一年度保育園児を募集しますので、希望者は申込んでください。

▽募集人員 百人▽受け付け期間 一月二十六日から二月十日まで▽申込み 同保育園にある用紙で申込んでください。

愛の募金運動に協力を

県保護司連盟では「あやまちを

おかした人の更生に、あなたのおたかいた手を」をスローガンに今年も愛の募金運動を展開していますが、町保護司会(和田吉二会長)でもこの運動と取り組み、区長さんを通じて協力金をお願いしましたので、みなさんのあたたかいご理解とご協力をお願いします。なお、前回は県全体で百六十二万六千円の浄財が寄せられました。

外科

- 1日 県立吉田病院 ☎吉田(2)5111
- 8日 竹前医院 ☎ (3)2809
- 11日 分水・本間医院 ☎分水(7)2350
- 15日 県立吉田病院 ☎吉田(2)5111
- 22日 町立巻病院 ☎ (2)3111
- 29日 分水・榊原医院 ☎分水(7)3128

2月休日救急病院

内科

- 1日 高木医院 ☎(2)2208
- 8日 大越医院 ☎(2)2707
- 11日 笠原医院 ☎(2)6161
- 15日 町立巻病院 ☎(2)3111
- 22日 西川医院 ☎(2)6066
- 29日 長沼医院 ☎(2)2210

役場

- 分室 (代)二一三二一
- 町立巻病院 (代)二一三二一
- 消防署 二一三〇九
- 水道課 二一三二四
- 公民館 二一三三九
- 教育委員会 (代)三一〇〇〇

電話メモ